

「中目黒駅高架下開発計画」が始動！ 2016年秋、約700mに渡り中目黒の高架下が生まれ変わります

東京急行電鉄株式会社

当社は、東京地下鉄株式会社と共同で、2016年秋の開業を目指し、「中目黒駅高架下開発計画」（以下、本計画）を着工しました。

本計画は、東急東横線・東京メトロ日比谷線中目黒駅周辺の高架下空間を約700mに渡って線状に開発し、店舗、事務所など約40区画を設けるものです。目黒川から祐天寺方面へ、繁華街、住宅地を貫き開発することで、駅周辺の既存の商店街や緑道との回遊性をより一層高めます。

本計画の開発コンセプトは“SHARE（シェア）”です。全長約700mに渡る高架橋というひとつ屋根の下を、個性あるさまざまな店舗が“SHARE”し、「中目黒らしい街の楽しみ方」ができる新しい商店街のカタチを目指します。

デザインコンセプトは「Roof Sharing（ルーフ・シェアリング）」とし、高架橋の下を各店舗が各々の外装デザインで空間演出するほか、目黒川沿いには店舗用のテラススペースを設けることで、人や街に開かれた空間を創造します。

当社は、今後も「いい街 いい電車 プロジェクト」のもと、積極的に駅構内および駅周辺の商業施設開発を進めることで、東急線沿線の生活価値向上に努めます。

本計画の詳細は別紙の通りです。

【山手通り沿い施設内イメージ】



【高架下イメージ】



【目黒川沿いテラススペースイメージ】
以上

